

熊本県 商工会青年部連合会

空き店舗活用で「まちの駅」

NPOと連携し、県産品の販路開拓や就労支援

七月一日、熊本市健軍商店街の書店だった四階建て空き店舗に、県商工会青年部連合会（熊宮敏宏会長）の県産品販売店「ふるさとショップ・まちの駅」がオープンした。

この空きビルは健軍商店街振興

組合（剣羽逸朗理事長）が所有していたが、県青連前会長（松村祥史氏）の呼びかけで取り組みが実現したもので、商工会会員のものが特産品の販路開拓や地域ブランドづくり、さらにはNPO法人「おーさあ」と連携して若者らの職業訓練の場としても提供している。



一階の「まちの駅」では、会員企業四五社が生産する農水産加工品、菓子、ジュース、惣菜類など約二〇〇種類を販売している。

同時オープンした二階の「夢・サポート健軍」は、不登校や引きこもりなどの青少年を支援する「おーさあ」が、障害者も含めたカウンセリング、「まちの駅」でのアルバイトを通じて、職業訓練も手がける。

奈良県 商工会連合会

楽しめる観光案内を

「奈良八景すごろくめぐり」を配布



県内の観光客に奈良をより楽しんでもらう狙いで、商工会連合会は平成十七年度若手後継者等の育成事業として観光案内パンフレット「奈良八景すごろくめぐり」を製作、県内の八商工会を中心に計

一万六〇〇枚を配布した。「すごろくめぐり」は四六〇ミリ×七二〇ミリ。持ち運びに便利なように、八面蛇腹折りができる。

主に斑鳩、大和郡山、新庄周辺、御所、吉野、室生、桜井、榛原の観光スポット・イベント

や名産品などを紹介している。それらを盛り込んだすごろくとしても楽しめるよう工夫されている。同連合会は、女性部を中心として新庄町（当時）、御所市、吉野町、大和郡山市、斑鳩町、桜井市、榛原町、室生村の八商工会の協力で同パンフレットを製作し、今年一月に各商工会に配布した。商工会だけでなく、多くの人の目に触れるように各地域の役場やみやげ物屋、飲食店などにも置いた。各地域の商店主からは、「もっとお店に持ってきてほしい」と好評だという。

同連合会の藤村伊津子さんは「『すごろくめぐり』をできるだけ多くの観光客に見てもらい、県内の観光地に足を伸ばしていただだけるきっかけにしてほしい」と期待を語る。

岩手県 大野村商工会女性部

高齢者招き昼食会

手料理囲み、世代間交流図る

商工会女性部（松本キヨエ部長）のメンバーと洋野町の大野高校（阿部恭三校長）の生徒らは七月一日、交流を深めようと、大野地区で一人暮らしをするお年寄り約八〇人を同校に招いて昼食会を開催、手作りの料理を振る舞った。

調理は家庭クラブの生徒たちが中心となり、ちらし寿

司やそつめん、大豆入りのおからもちなどを作り、会話を楽しみながら一緒に食事をした。また、体育館で同校吹奏楽部の生徒らによる演歌や人気時代劇のテーマソングなどの演奏を楽しんだ。

二年生の源田加苗さんは「一生懸命作ったが、皆さん喜んで食べてくれてよかった」と話した。参加した上小路シゲさんは「楽しみにしていた。高齢者好みに甘く作ってくれた。みんなとても上手だ」と笑顔で語った。

女性部の畑加奈子さんは、「高校生もがんばって料理を作っていた。普段は高齢者にふれあう機会が少ないが、世代間交流も図れたのではないだろうか」と満足そうだった。